

一般会計予算の市民1人当たりの 主な使いみち

教育



- 小・中学校、幼稚園の管理運営
 - 児童・生徒の放課後活動支援 など
- 39,997円**

保育所・認定こども園

- 保育所施設の管理運営
- 民間保育園・認定こども園への運営補助 など



43,932円

高齢者福祉・生涯学習

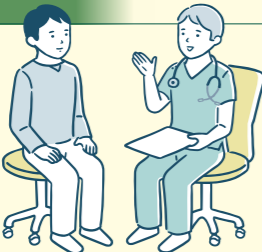


- 高齢者医療、介護保険制度への助成
- 生涯学習施設の管理運営 など

43,002円

健康

- 各種がん検診
- インフルエンザ、肺炎球菌など予防接種
- 子どもの医療費助成 など



31,060円

公園や道路などの維持管理

- 公園施設の管理や修繕
- 道路の維持補修 など



22,873円

ごみ処理・リサイクル

- ごみ収集、清掃工場の管理運営 など



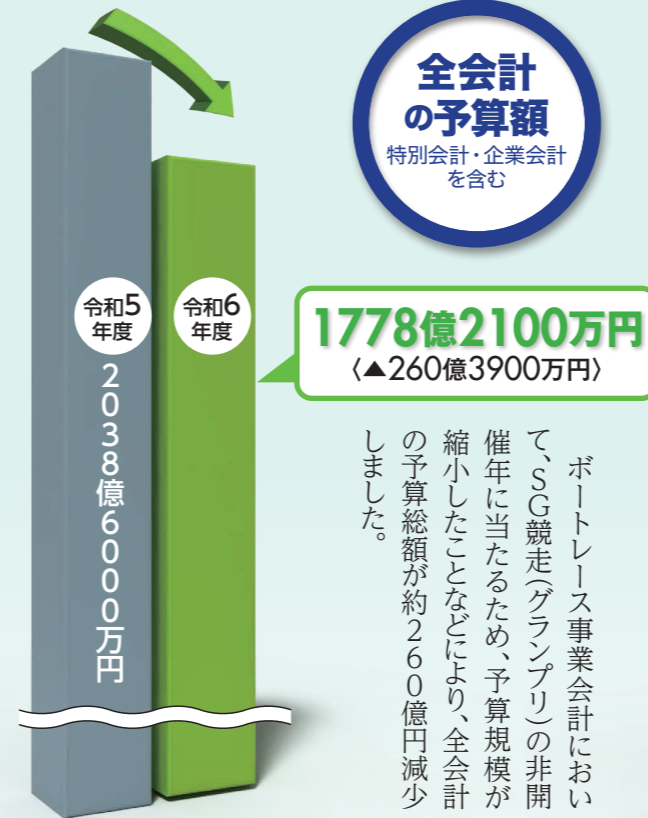
14,611円



予算編成概要

令和6年度当初予算は、引き続き市新改革プランを着実に実行しながら、未来への投資と財政規律の堅持を両立し、堅実な行財政運営を行うものとなっています。新年度も「身を切る改革を始めとした市役所改革・運営形態の見直しの実行」「住民目線に寄り添って直ぐ動き、日本一親切的な市役所」「みどり豊かで住み続けたい、子育て・教育日本一のまちづくり」の3つの基本政策により、さまざまな取り組みを進めていきます。

▲12.8%



ポータルレース事業会計において、SG競走(グランプリ)の非開催年に当たするため、予算規模が縮小したことなどにより、全会計の予算総額が約260億円減少しました。

+4.4%



令和7年度の開署に向けた消防拠点整備や、中部地域における障害者通所施設の整備、第二総合運動場に隣接する西ノ池跡地に整備する室内温水プールの設計などにより、予算額が約29億円増加しました。

予算全体の規模

（）の数値は、前年度との比較を表しています。

令和6(2024)年度

新年度の

箕面市の台所事情と予算の使いみち

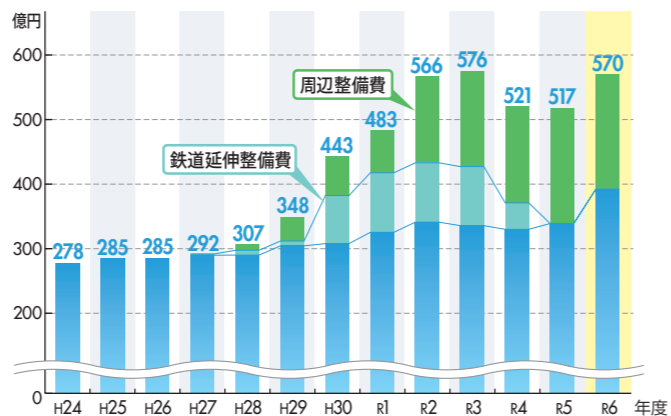
令和6(2024)年度予算は、2月20日から3月26日まで開かれた市議会定例会で審議の上、可決されました。

問政策推進室 ☎724・6718 FAX724・6971、財政経営室 ☎724・6708 FAX723・2096

市債とは、家計に例えると「ローン」です。

令和4～5年度に繰上償還を実施し、北大阪急行線の延伸に係る市債は完済しました。新年度についても、これまでに確保できた財源を活用することで、北大阪急行線の延伸に係る市債の発行を「ゼロ」としています。一方、都市計画道路を含めた新駅周辺の整備、消防拠点整備や障害者通所施設整備などに係る市債を発行するため、市債残高は約54億円増加しました。

570億4200万円 (53億5900万円、+10.4%)

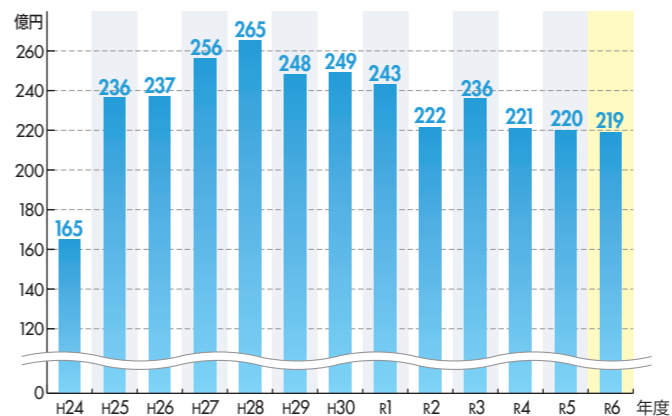


市債残高(普通会計ベース)

基金残高(普通会計ベース)

新市立病院の整備に活用するため「新市立病院整備基金」や、みのおサンプラザ1号館の建て替えに備え「都市施設整備基金」に積み立てた一方で、北大阪急行線の延伸や都市計画道路を含めた新駅周辺の整備費などに基金を活用するため、基金残高は約1億円減少しました。

219億4200万円 (▲7600万円、▲0.3%)



経常収支比率(当初予算ベース)

人件費や社会保障関係費は増加したものの、市税収入の増などにより、昨年度から0.2ポイント改善し、2年連続で100%を下回りました。引き続き、未来への投資と財政規律の堅持を両立し、堅実な行財政運営を行っていきます。

99.3% (▲0.2ポイント)

